

信州大学医学部附属病院 消化器内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2017年3月7日

「非 B 非 C 肝細胞癌の臨床的特徴、治療法、予後に関する後ろ向き多施設共同コホート研究」に関する臨床研究を実施しております。

信州大学医学部医倫理審査委員会の審査による医学部長の承認を得て、調査を行っています。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	
研究課題名	非 B 非 C 型肝細胞癌の臨床的特徴、治療法、予後に関する後ろ向き多施設共同コホート研究
所属(診療科等)	第二内科 消化器内科
研究責任者(職名)	梅村 武司 (准教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2019年3月31日
研究の意義、目的	非 B 非 C 肝細胞癌の臨床的特徴を明らかにすることを目的とした研究で、早期発見や新規治療の開発に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	1991年1月1日から2015年12月31日の期間に当院で非 B 非 C 肝細胞癌と診断された方。
利用するカルテ情報／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査、画像検査結果など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、非 B 非 C 肝細胞癌の臨床的特徴について検討します。
共同研究機関名	東京大学、消化器内科
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 梅村 武司(第二内科 准教授)、山崎 智生(第二内科 医員) 電話:0263-37-2634

診療記録(カルテ情報)、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報削除し、主任施設である東京大学に提出します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。